



●日時：2013年4月24日(水)  
 ●見学先：東播染工株式会社、岡治織物、播州織工業協同組合、  
 門脇織物株式会社 (ASABAN Shop「あおやま」、ASABAN Showroom)

## 播州織物見学会

兵庫県の北播磨地域に展開する播州織は明治維新の時代から綿布業の企業地として始まる。昭和の時代には業者数270軒織機台数8300台を数えるほどの産業地域として発展し、黄金時代を迎える。第二次世界大戦後は高級綿布生産の方向性のもと、アメリカ市場開拓を皮切りにカナダ、オーストラリア、中南米、アフリカ、欧州の一部に販路を拡大し、全世界市場を商圏とした第二次黄金時代を築いた。

昭和40年代には力織機から革新織機に移行し、現在では新商品の開発に取り組み、ファッション・テキスタイルの最新情報を発信できるような創造性豊かな産地づくりに努力されている。

この度、西カルチャー&コミュニケーション部会による繊維産業の現場を見て・現場を知り・そして学ぶ機会として、国内最大の見学会の先染綿産業の産地見学を行った。今回の参加者は会員13名、非会員2名、合計15名にて見学会を実施した。



今回の見学会は四カ所の見学先を訪問し、非常に盛り沢山な内容であった。東播染工株式会社、岡治織物、播州織工業協同組合の三カ所の見学先に関しては播州織物の生産工程を見て知ることができ、大変有意義な時間でした。

また、門脇織物株式会社ではハンドメイド感のある生産を見ることができ、新しい播州の顔を発見できた。実際、足を運び現場を見ることで、改めて日本のものづくりの良さを知ることができた見学会であったと同時に、参加者のみなさまにおかれましては今後の活動のための貴重な時間となったことと思っております。

この度の見学会のコーディネートをしていただいた北播磨地場産業開発機構の専務理事足立様、TDAの国米様には大変感謝しております。

また、雨の降る中、ご参集していただいた参加者のみなさまとともに見学会を行えたことも心から感謝しております。

(文責：田中孝明)